

国立大学法人東京大学が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、ESG 投融資の一環として、2020年10月に国立大学法人東京大学が発行する「ソーシャルボンド」への投資を行いました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資する事業（ソーシャルプロジェクト）の資金を調達するために発行される債券のことです。

国立大学法人東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。

本債券への投資資金は FSI^{注)} 事業に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」、「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

本債券への投資は、「すべての人々へ質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

なお、2020年9月、本債券発行のための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2020に適合するものとして、日本格付研究所(JCR)から Social 1（F）の評価を取得しています。

当社は、中期経営計画「TRY NEXT ～ 成長を実現し、未来を創る～」において、CSR 活動を通じて、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献を図る等、社会貢献へ取り組むこととしております。

今後も引き続き、資産運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくため、ESG 投融資への取り組みを一層推進してまいります。

<本債券の概要>

債券名称：第1回国立大学法人東京大学債券（ソーシャルボンド）

発行総額：200億円

償還期間：40年

注) FSI (Future Society Initiative:未来社会協創) とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること